



土田麦樞《琴》(京都市立芸術大学芸術資料館蔵)



徳岡神泉《散れ》(京都市美術館蔵)



小野竹齋《風雨》(高島屋史料館蔵)

## 近代京都画壇を 育んだ人たち

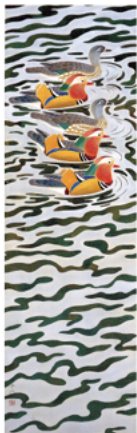
京都は明治以降、今日に至るまで日本画の中心地のひとつとして美術界を牽引してきました。画家たちは画塾や画学校に通って師に学び、仲間と切磋琢磨して自己の表現を探索しながら、常に「日本画とはどうあるべきか」という問題に向き合っていました。

近代の京都画壇は、円山四条派を中心とした近世の伝統を継承していましたが、一方で明治以降に輸入された西洋の表現も積極的に学んでいきました。そうすることで日本の表現における独自性を再認識し、新たな「日本画」の可能性を追求していったのです。このような、伝統を尊重しながら進取の気性に富むという京都の気風が多くの優れた画家を育み、日本画の新たな表現を切り拓いてきたといえます。

本展では、近代京都画壇を代表する9人の画家、上村松園、西村五雲、石崎光瑠、榊原紫峰、土田麦樞、村上華岳、小野竹齋、福田平八郎、徳岡神泉の作品約30点を紹介します。

それぞれの画家が、描く対象をひたむきに見つめ、様々な表現に挑戦しながら日本画の在り方を模索した、その軌跡をお届けします。京都で花開いた、画家たちの多様な個性に触れてみてください。

京都市学校歴史博物館  
開館15周年



福田平八郎《鶯鶯》(個人蔵)



榊原紫峰《鹿之図》(京料理萬重蔵)



村上華岳《襖掛 南福》(京都市立芸術大学芸術資料館蔵)



石崎光瑠《鶯籠》(福光美術館蔵)



西村五雲《梅日印》(公益財団法人木下美術館蔵)

表紙：上村松園《福貴丸》(松柏美術館蔵)(上)、土田麦樞《蓮華》(部分)(個人蔵)(下)

開催記念期談

### 「近代京都画壇を育んだ人たち」

11月10日(日)午後2時～3時30分

登壇者

上村淳之(日本画家・京都市学校歴史博物館館長)

吉中充代(京都市美術館学芸課課長補佐)

小倉実子(京都国立近代美術館主任研究員)

※定員180名。(先着順) 聴講無料(入館料が必要)

申し込み制です。下記までお申込み下さい。

#### ●京都いつでもコール

(氏名・電話番号・イベント名をお伝え下さい)

電話：075-661-3755 FAX：075-661-5855

(あかけ間違いのないようご注意ください)

E-mail：京都いつでもコールのホームページから

<http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>

お申込期間：10月3日～11月3日



※駐車場はあつせんので、公共交通機関をご利用ください。  
●阪急電車「河原町」下車 中央改札南西へ徒歩5分  
●地下鉄烏丸線「四条」下車 南口改札東へ徒歩10分  
●京阪電車「紙園四条」下車 南西へ徒歩10分  
●市バス「四条河原町」下車 南西へ徒歩5分  
●市バス「河原町松原」下車 北西へ徒歩5分

市バス・地下鉄  
経路検索サイト  
浴ナビ @kabe



## 京都市学校歴史博物館

〒600-8044 京都市下京区御幸町通仏光寺下る楠町437 学校歴史博物館 検索  
TEL. 075-344-1305 FAX. 075-344-1327 <http://kyo-gakurehaku.jp>